



赤松学舎 世田谷区立松沢小学校

学校だより 2月号

令和7年1月29日(水)

世田谷区立松沢小学校 校長 寺崎 晶子

URL <http://school.setagaya.ed.jp/mawa/>



「生き方から学ぶ」

副校長 山田 隼士

1月22日、プロ野球選手のイチローさんが、日本人として初めてアメリカ野球殿堂入りを果たしたというニュースが流れました。イチローさんといえば、2001年にメジャーリーグに挑戦をし、2004年にはシーズン262安打をマークして大リーグ記録を更新する偉業を成し遂げた選手です。引退してからは後進の育成にも取り組まれ、高校生の指導等も行っています。そのイチローさんの殿堂入りが決まった直後のインタビューに、とても感銘を受けましたので紹介したいと思います。

これから野球を始める人へのアドバイス『僕が比較にはならないくらい才能ある選手がたくさんいた。それを生かすかどうかは自分自身で、自分の能力を生かす能力があることを知っておいて欲しい。自分をどれだけ知っているかということが結果に大きく影響することを知っておいてマイナスはない。』

満票での選出に1票届かなかったことについて『やっぱり不完全であるというのはいいなと。生きていくうえで不完全だから進もうとできるわけで。そういうことを改めて考えさせられるというか、見つめ合えるというか、そこに向き合えるのはよかったなと思います。』

野球を通して喜びを感じたことは『野球の魅力はゲームもちろんあるが、多くの人に出会えることだと思う。出会いが自分を作ってくれる、そして自分を作ってくれた。それが何よりの財産で楽しいことと言えると思う。』

言葉を大切にしているイチローさんらしい、含蓄のあるインタビューの内容ではないでしょうか。

さて、松沢小学校では子供たちが将来を見据えながら自らの夢を育むことができるように、様々な授業を行っています。その中の一つ、4年生の「マイ人生プラン」では、実際に社会で働いている保護者の方に来ていただき、仕事の内容やその仕事について理由、やりがいなどを教えてもらいました。親が来た子供たちはちょっぴり照れくさそうにしていたのですが、仕事の話をしつくり聞くことは初めてだったようで、真剣に話を聞いていました。未来を担いゆく子供たちにとって、大人たちの生き方は何よりの参考となります。あらたまってご自身の経験を伝える機会を作ることは難しいかもしれませんが、スポーツ選手の活躍などを通して話をすると、子供にも伝わりやすいのではないのでしょうか。

最後になりますが、イチローさんは会見で着用していたTシャツのデザインについて『自分が好きなことを見つけて夢中になれることに飛び込んでいこう、そのドアを開けてみようという意味を込めている。』と答えていました。子供たちが夢や希望をもち、自分の思い描く未来の実現のために一歩踏み出せるよう、より一層キャリア教育を充実させていきたいと思えます。

「人格の完成をめざして」2月のテーマ

生活目標

やりぬく心

- ・自分の目標に向かい、努力し続けていますか？

めあてをもって 体をきたえよう

- ・自分の仕事やめあてを最後までやり通そう。
- ・薄着で過ごそう。
- ・手洗い、うがいをしっかりしよう。